

記入例:2023 年度分の実績報告

様式第 92(第 96 条関係)

登録事業者報告書

2024 年 4 月 1 日以降の日付で作成してください。

※年度途中で報告する場合(事業廃止等)を除く日付は西暦・和暦どちらでも結構です。

(他の項目も同じ)

2024 年 XX 月 XX 日

登録されている代表者名義で提出してください。

※ 計量法施行規則の改訂に伴い、代表者押印は不要となりました。

報告者 住所 東京都渋谷区西原 2-49-10

名称 ○○株式会社

代表者の氏名 代表取締役 NITE 太郎

報告いただく年度は 2023 年度(2023 年 4 月 1 日~2024 年 3 月 31 日)となりますので、2023 年度と記載ください。

区分毎に初回登録年月日を記入してください。

※ 初回登録日以降の更新日等を記入いただく必要はありません。

1 事業所の名称等

年度	計量器の校正等の事業を行う事業所の名称	登録年月日及び登録番号
2023 年度	○○株式会社 校正室	登録番号:XXXX 登録年月日 質量:平成 13 年 4 月 1 日 硬さ:平成 20 年 4 月 1 日

2 校正等を行った件数等

第 90 条第 1 項の区分	計量器の校正等を行った件数	証明書の発行件数
質量	10 件	10 件
硬さ	0 件	0 件

当該年度において実績が無い場合は、「なし」「0 件」等を記入してください。

「質量」「硬さ」等、登録区分毎に記載してください。

※ 校正手法の区分(はかり、分銅等)毎に記載いただく必要はありません。

譲渡した計量器又は標準物質の種類	数量
なし	0 件

3 校正事業に使用する計量器又は標準物質の区分ごとの種類等

計量器等の種類	数量	証明書の発行番号及び発行年月日
分銅	12	XXXXXXXXXX 2022 年 XX 月 XX 日
ロックウェル硬さ標準片	一式	XXXXXXXXXX 2023 年 XX 月 XX 日

数が多い場合は、「別紙のとおり」として、別紙にて記載いただく形でも構いません。

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格に定めるA列4番とすること。
- 2 2 項については、特定標準器による校正等をされた計量器又は標準物質により計量器の校正等を行った場合と、それ以外のものによって計量器の校正等を行った場合を分けて記載すること。
- 3 3 項については、特定標準器による校正等をされた計量器又は標準物質とそれ以外のものを分けて記載すること。